

第14回公安委員会定例会開催状況

1 開催日時

令和8年6月11日（木）13時00分～16時45分

2 決裁事項

(1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し等について報告を受け、決裁した。

(2) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定

警察本部から、犯罪被害者等給付金支給裁定について報告を受け、決裁した。

(4) 令和8年度留置施設視察委員会委員の任命

警察本部から、令和8年度留置施設視察委員会委員の任命について報告を受け、決裁した。

(5) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

(6) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 令和7年中の拾得物等の取扱状況

警察本部から

○ 拾得物の受理件数は23万7,856件で前年比プラス1.6%、物品数は23万6,040点で前年比プラス0.9%、現金は3億17万5,421円で前年比マイナス3.4%となっている。

○ 拾得物の処理状況は、

- ・ 返還が、現金の約67%、物品点数の約40%
- ・ 交付が、現金の約18%、物品点数の約34%
- ・ 県帰属が、現金の約16%、物品点数が約26%

となっている。

○ 遺失届の受理状況は、受理件数が4万2,009件で前年比プラス2.4%、物品数が9万6,090点で前年比マイナス1.5%、現金は3億9,444万4,443円で前年比プラス1.7%となっている。

旨の報告を受けた。

委員が

「警察官の成り手の減少や業務量の増加から考えて、民間組織の活用は遺失、拾得業務において効率的であると考えるため、前向きな検討を行っていただきたい。」

「遺失、拾得業務は多忙であるため、合理化に向けて対策を行っていくべきであると考え。また、県民に防犯を広報するように、遺失、拾得の意識を改めるように広報を行っていくことも効果的と考える。」

旨を発言した。

(2) 令和7年度留置施設視察委員会委員による視察結果

警察本部から

○ 令和7年6月から12月までの間、本部留置施設等8施設を対象として留置施設視察委員会委員による視察を実施した。

○ 委員から

○ 高齢者対策の徹底

○ 自殺事案防止対策の徹底

○ 看守勤務員の健康管理への配慮

が意見として挙げられたため、巡回の徹底による動静監視の強化、留置施設内の点検箇所(point of inspection)の点検及び改修、空調設備の整備等による勤務環境の改善等の対策を講じた。

旨の報告を受けた。

委員が

「視察委員会委員の指摘を受け止め、改善をしていき、施設環境の整備を徹底していただきたい。」

「勤務員の働きやすい環境を構築するのはもちろん、被留置者の体調管理も徹底していただきたい。」

旨を発言した。

(3) 警察舟艇、警察用航空機等合同水難救助訓練の実施

警察本部から

○ 訓練の目的は、水難が多発する夏季を迎えるに当たり、水難を想定した関係機関との合同訓練を実施することで、警察舟艇、警察用航空機等の連携強化及び救助技術の向上を図るものである。

○ 訓練は6月23日午前10時30分から午前11時20分までの間、玉野市内の渋川海水浴場沖にて行う。

○ 訓練参加者は、警察本部から13名、警察署から7名、中国四国管区警察局から4名である。

○ 訓練内容は、「遊泳中の大学生2名が沖に流され、姿が見えなくなった」との通報に基づき、警察舟艇及び警察用航空機が現場臨場し、発見した救助者を救命浮環やホイストにより救助するものである。

旨の報告を受けた。

委員が

「実際の現場では救助を行う者の命も危険に晒されるため、より実務的な訓練を行い、

技術の向上を行っていただきたい。」

「水難救助は高度な技術が求められるため、技術の向上、勤務員同士の連携強化のため、継続して訓練をしていただくとともに、問題点の抽出、解決を行っていただきたい。」旨を発言した。

(4) 交通事故発生状況（５月）

警察本部から、

- 暫定値であるが、令和８年５月末の総事故件数は2万584件と、前年同期比666件増加、そのうち人身事故は1,916件と、前年同期比９件増加した。
- ５月中の交通事故による死者数は６人であり、５月末の死者数は19人と、前年同期比２人増加した。５月末までの死亡事故の特徴として、人対車両による事故が７件発生しており、そのうち夜間時間帯に発生した事故６件は、全てが反射材非着用の歩行者の被害となっている。
- ５月中の主な取組は、自転車歩道通行可能場所のMAP化、啓発活動の実施及び暴走族対策を実施した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「県民の自転車に対する関心が高まっている中で、正しい通行ができる場所をMAP化して配布したのは、正しい認識を与えるためにとても効果的であると考える。」

「交通事故発生状況の徹底的な分析、対策により、交通事故を１件でも減らしていただきたい。」

旨を発言した。

(5) 非違行為

警察本部から、非違行為について報告を受けた。

(6) 国家賠償請求控訴事件の応訴方針

警察本部から、国家賠償請求控訴事件応訴方針について報告を受けた。

(7) 令和８年５月中の公安条例許可状況

警察本部から、令和８年５月中の公安条例許可状況について報告を受けた。

(8) 令和８年５月中の小型無人機飛行通報状況

警察本部から、令和８年５月中の小型無人機飛行通報状況について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和８年６月18日（木）13時30分から開催予定